

第五次丸亀市行政改革プラン（案）に関する意見と市の考え方

1. パブリック・コメントの概要

意見募集期間 令和4年1月4日（火）～2月3日（木）

意見提出者数 1名

意見提出件数 5件

2. 意見の概要と市の考え方

番号	意見の概要	市の考え方
1	<p>《⑫定員管理の適正化、⑭人材育成基本方針の実践について》</p> <p>持続可能な公共サービス提供のために、専門職の正規職員は、新規に採用し育成することが必要と思います。今後、DXに精通した人など、新たなニーズに対応する必要もあります。980名に固執することなく、長期的な展望をもって進めてください。</p>	<p>人口減少・少子高齢化に伴い労働力が減少する中、複雑多様化しながら増え続ける行政課題に対応していくためには、必要な職員数を確保するとともに、職員一人ひとりの能力を高めていくことが必要です。</p> <p>そのため本市では、平成31年度から令和4年度までを計画期間とする「第四次定員適正化計画」において、その間の職員数の上限を980人と定めて定員管理を進めるほか、職員の育成については、「人材育成基本方針」に基づき、各種研修などに取り組んでいます。</p> <p>一方、DXなどの専門性が求められる分野については、情報枠の職員募集を行っており、今後も職務経験者枠の職員募集や、民間など外部人材の活用も図りながら、状況に応じた労働力の確保に努めていきたいと考えております。</p> <p>また、令和4年度では、次期計画となります「第五次定員適正化計画」の策定を予定しており、職員数などもあらためて検討することとしています。</p>

<p>2</p>	<p>《⑰ワーク・ライフ・バランスの推進について》</p> <p>なぜ時間外勤務が減らないのでしょうか。部署や個人により仕事量が多いのでしょうか。職員一人ひとりの感覚として、以前よりワーク・ライフ・バランスが進んだと感じられるのでしょうか。意識調査を行うことにより、見えてくるものもあると思います。</p> <p>ワーク・ライフ・バランスの推進は、女性が活躍するための必要条件でもあります。</p>	<p>職員が能力を発揮しながら意欲的に働き、また、女性活躍を推進するためにも、ワーク・ライフ・バランスの推進は必要です。そこで、職員が安心して働くことができる職場環境づくりとともに時間外勤務の削減についても重要な課題ととらえ、これまでもノー残業デーの実施や、男性の育児休業取得促進などに取り組んできました。</p> <p>また、ワーク・ライフ・バランス推進のためには、私どもも職員の意識調査は有効と考えており、今年度に職員アンケートを実施しました。今後はこのアンケート結果も参考に人材育成基本方針の改定を行い、ワーク・ライフ・バランスの推進に努めてまいります。</p>
<p>3</p>	<p>《⑳マルタスを拠点とした市民活動の推進について》</p> <p>次期行革計画期間中、マルタスは指定管理者（CCC）により運営されていますが、その後、どこが受託するか分かりません。継続して市民活動を促進するための市の展望はどうなっているのでしょうか。もしCCCが受託しなかった場合、現有の本の管理など、ノウハウは市に残されるのでしょうか。</p> <p>市民活動推進のコーディネーターを、今はCCC職員が担っていますが、地元の人材を育成することも必要です。</p> <p>マルタスの運営検証の指標は公開されていますか。</p>	<p>本市の市民活動の展望といたしましては、協働や市民活動を促進するための基本計画である「丸亀市協働実行計画」を定め、「市民の力が活かせる協働のまち・いきいきとした個性豊かで活力あふれるまち」を目指して、情報共有や啓発活動、人材の育成、活動基盤の整備、交流・連携の推進などの施策を推進しています。</p> <p>その拠点となるマルタスについては、他の類似施設で運営経験を持つカルチャー・コンビニエンス・クラブ（以下、「CCC」という。）を指定管理者として、同社の知見を活かした運営を行っています。</p> <p>こうしたCCCの運営手法は、本市の貴重な財産として蓄積し、今後のマルタスの運営に役立ててまいりたいと考えています。</p> <p>また、このマルタスの運営に関する検証作業につきましては、来館者数に加え、「市民活動登録数」や「市民活動者交流会参加者数」などを指標に設け、交流だけでなく市民活動の推進などについても確認する指標を進行管理の中で公表してまいります。</p>

<p>4</p>	<p>《⑤民間委託等の推進について》</p> <p>毎年、「民間委託など検討事業数が2以上」となっているのは、検討箇所が既にリストアップされているのでしょうか。逆に、今後も市の責任で運営されるべき機関の検討はされていますか。いったん民間に委託してしまうと、市の職員のノウハウの継続ができません。検討する場合は、関係する審議会や市民団体などの意見も聞き、慎重に審議し、そのつど情報公開していただきたいと思います。</p>	<p>民間委託などの検討につきましては、これまでも継続的に、各課へのヒアリングなどを通じて事業単位での民間委託の可能性などを検討してきました。今後もこうした取組を継続し、洗い出しを行いながら毎年度2件以上の事業について検討していこうと考えております。</p> <p>検討に当たっては、市民サービスへの影響のほか、その時々^々の社会経済状況や市の財政状況、また、市職員のノウハウの継続など、将来も見据えながら、また、必要なものについては議会や審議会などのご意見も伺いつつ検討してまいります。情報公開につきましても、審議会での検討過程など可能な局面での公開に努めてまいります。</p>
<p>5</p>	<p>《用語解説について》</p> <p>「ワーク・ライフ・バランス」の説明文中の「仕事の」を「仕事と」に修正を。</p>	<p>ご指摘ありがとうございます。修正いたします。</p>